

ビルメンテナンス フェア TOKYO 2022 実施報告

令和4年7月14日、15日の2日間にわたり、当協会が主催し、賛助会員企業による商品展示会となるビルメンテナンスフェアTOKYOが4年ぶりに東京都立産業貿易センター浜松町館で開催された。

コロナ禍での開催となったものの、2日間で2,500名を超える来場者があり、成功裏に終了することができた。

※本ビルメンテナンスフェアで開催した品質管理セミナーは、次回11月号にて別途特集予定になります。

提供：東京都立産業貿易センター浜松町館

フェアの概要

ビルメンテナンスフェアTOKYOは当協会が隔年で開催しているイベントである。本来は2021年に開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により当初の予定より1年遅れての開催となった。

今回のテーマは「新常态への挑戦。ビジネス勝機はここから始まる。」。コロナ禍を踏まえた消毒作業やDX化、SDGsの促進等、変化していく新しい社会に対応した製品やサービスをビルメンテナンスの現場に紹介することを目的とした。

会場はJR浜松町駅近くにある、2020年にリニューアルオープンした東京都立産業貿易センター浜松町館。2階から5階までの4フロアを使用した。

また、当日は協会主催セミナーとして国際ビジネス&スポーツアナリストのタック川本氏をお招きした特別講演のほか、清掃、労務、品質管理の各セミナー、出展社によるセミナーも行われた。

賛助会員による出展ブースには30社、各社とも最新の自社製品から定番商品まで様々な展示を行った。コロナ禍の下での開催となったが、会場は非常に活気ある雰囲気であった。



オープニングセレモニー

会長挨拶

7月14日(木) 10時前、フェアの開場に先立ってオープニングセレモニーが行われた。フェア開会にあたり佐々木会長からあいさつがあった。

「前回開催がもう4年も前のことになりました。普段であれば昨年に開催するところでしたが、新型コロナウイルスの影響で開催中止を余儀なくされ、一年延期といたしました。今年なんとか開催にこぎつけることができた次第です。



昨年中止せざるを得なかったビルメンテナンスフェアを、このように多くの皆様にお集まりいただき、豪華に生まれ変わった浜松町館で実施できることを非常にうれしく思います。

今回のフェアでは、「非常態への挑戦。ビジネス勝機はここから始まる。」をテーマに、コロナ禍の今後を見据えて、業界を挙げて新たな取り組みに挑戦していくことを目指したいと思っています。

フェア開催にあたりましては、協会のホームページやチラシだけでなく、最寄り駅の浜松町を含めた山手線の主要駅にポスター広告を掲示するなど、この取り組みへの挑戦を、業界の皆様だけではなく、業界外の皆様にも周知すべく心がけました。

最後になりましたが、本フェアが、ビルメンテナンス業に関わる皆様の、情報収集の場、商談につながる機会づくりの場となり、さらに快適な都市環境づくりに尽くすビルメンテナンス業の役割を広く発信する場となれば、何よりと思っています。」

出展社代表挨拶

出展社を代表して株式会社イシイの代表取締役社長である石井保男氏からご挨拶をいただきました。

「今回出展しております30社を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

私もこの展示会では実行委員をさせていただいたことがあり、その時に業界の先輩にお聞きしたのですが、この展示会は東京協会様より、我々賛助会員に対して何かお役にたてることはないかというご相談をいただいたのが、始まりと伺っております。

この展示会は賛助会員のみが出展することができ、出展の小間代も非常にリーズナブルで、



多くのビルメンテナンス業の方々にご来場いただける展示会です。

ここ数年は、新型コロナウイルスの影響もあり、ビルメンテナンスの現場環境も大きく変化してきていると思っております。

われわれ出展社としましても、日々現場で働かれる皆様を支援するため、新製品の開発や新サービスを創出し、業界への支援と発展に尽力した日々でございます。

フェアの開催は2日間となりますが、お時間の許す限り、各ブースをご覧いただき、忌憚のないご感想などをお聞かせいただければ、出展社一同、たいへん喜ばしく思います。」

だるまの目入れ

セレモニーの最後には佐々木会長、ビルメンテナンスフェア実行委員会の吉澤委員長によるダルマの目入れが行われ、盛大な拍手の中でフェアが開幕した。



特別講演

7月14日(木) 10時15分～11時45分

「メジャーリーグ球団経営に学ぶ経営戦略と人材育成」

講演者：国際ビジネス&スポーツアナリスト タツク川本 氏

今回のフェアの特別講演には国際ビジネス&スポーツアナリストのタツク川本氏をお招きし、「メジャーリーグ球団経営に学ぶ経営戦略と人材育成」をテーマにご講演いただいた。



講演では、氏がメジャーリーグに長年携わっている中で経験した、テレビ放映権やスポンサーシップ等の様々な権利ビジネスの話から始まり、メジャーリーグの組織構造、人材育成の手法について、自身の経験や考えをふまえた分かりやすい話題が展開された。

メジャーリーグ経営をヒントに、会社を長く存続させていくためにはどうすればよいのか、一流と呼ばれる選手を育てるための過程等、普段はなかなか知ることのできない情報を臨場感ある実体験とともに聞けるとあって、参加者は非常に興味深く聞いている様子であった。

タツク川本 氏

1943年5月19日生まれ

早稲田大学卒業後、南米アマゾン河で探索、研究生活を送る。

その後、アメリカにて国際情報社会学やインターナショナルスポーツファイナンス・マネージメントを研究し、ビジネスコンサルタントとして活躍。

現在は、日米で国際ビジネス&スポーツアナリストや、講演講師、著述家として、テレビ・ラジオ講演会などで幅広く活躍中。



協会主催セミナー① 建築物衛生管理セミナー

7月14日(木) 13時00分～14時00分

「清掃の見える化——特に衛生管理と改善対策について——」

講師：建築物衛生管理委員会 正田 浩三氏

建築物衛生管理委員会では、「清掃の見える化」に関するセミナーを実施した。



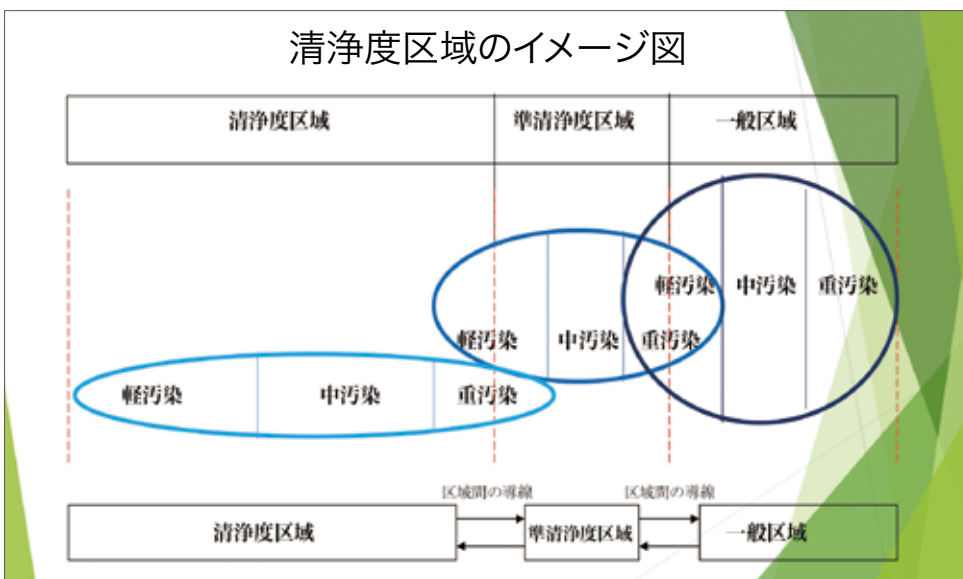
講師として建築物衛生管理委員会教育研修小委員会委員の正田浩三氏が登壇し、2021年に実施した清掃状況の「見える化」に関する調査研究の活動に関する報告を中心として、以下の内容について講演が行われた。

1. 衛生管理レベル

従来より、衛生管理区域としては、清潔区域、準清潔区域、一般区域、汚染区域がある。JIS規格としてクリーンルームの基準があり、準清潔区域、一般区域としては、日本建築学会の環境基準等がある。対象としては、浮遊粉塵数・微生物数、落下菌数、付着菌数である。

近年、有機物汚れを数値化するATP測定器が注目されている。ATP値とは、菌、皮脂、体液、食品残渣等の汚れ全体を検出している相対評価であるが、ATPの基準値は、現在は存在しない。

清浄度区域のイメージ図



2. 3つの現場のATP値測定結果

事例として、事務所ビル、複合ビル、物流倉庫の建物用途の異なる3現場で測定を行った。結果として、測定箇所ごとに数値の差があり、基準値を定めることが困難であると考えられた。また、清掃直後、閉館後など時間帯によっても現場の条件が異なることも大きく関係している。

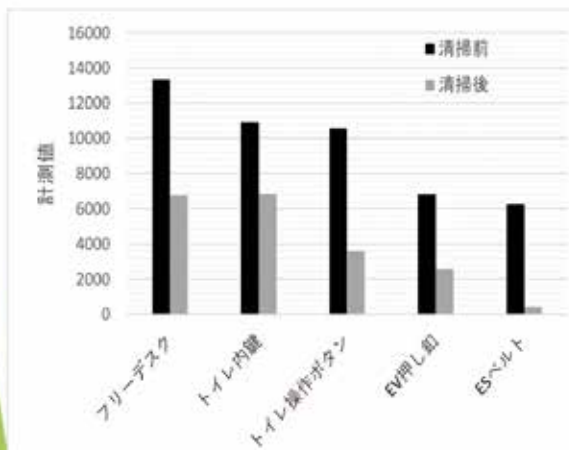
3. 改善方法

顧客より、清掃品質のレベルアップを求められた時には以下の改善方法を検討してみる。

- ①作業動作・・・往復動作、一文字動作、1回ごとに面を変える
 - ②作業道具・・・ナイロンタオル、マイクロクロス、紙タオル等に変更
 - ③資材・・・水拭き、洗剤拭き
 - ④作業回数・・・現在の作業回数を増やす
- 以上の組合せが有効であると考ええる。

なお、当日は130名が参加され、本セミナー内容に関する業界の関心の高さが伺えた。

事例2. 複合施設結果



ATP測定



ルミテスタースマート
(キッコーマンバイオケミファ(株))



<https://tokyobm.tacwebadmin.com/photo/event/user/tokyobm/library/A-013.pdf>



パワハラ・危機管理の新局面

精神疾患の労災認定基準改正をふまえて

講師：森井ハラスメント防止コンサルタント事務所 森井 梢江氏

労務管理委員会では、「パワーハラスメント防止」に関するセミナーを実施した。

講師には労務管理委員会委員で、森井ハラスメント防止コンサルタント事務所の森井梢江氏が登壇し、当日参加者55名に対して以下の内容について講演が行われた。

「パワハラ防止対策法（改正労働施策総合推進法）」が、令和元年に可決・成立、令和2年6月1日に施行となり、パワーハラスメント防止に向けて社会的に大きく変化している。

（１）パワーハラスメントへの行政指導

行政指導フローとして、都道府県労働局雇用環境・均等部（室）がハラスメントに関する情報提供や相談を受け、必要と判断された場合に事業所に対して助言・指導・勧告といった是正指導が行われる。これは是正指導に対して改善報告を出さないと企業名公表の対象となる。令和

2年度は、902事業所に対して報告請求が行われ、そのうち法違反があったのが389事業所で、413件の是正指導が行われている。

（２）労災認定基準のパワハラ明示

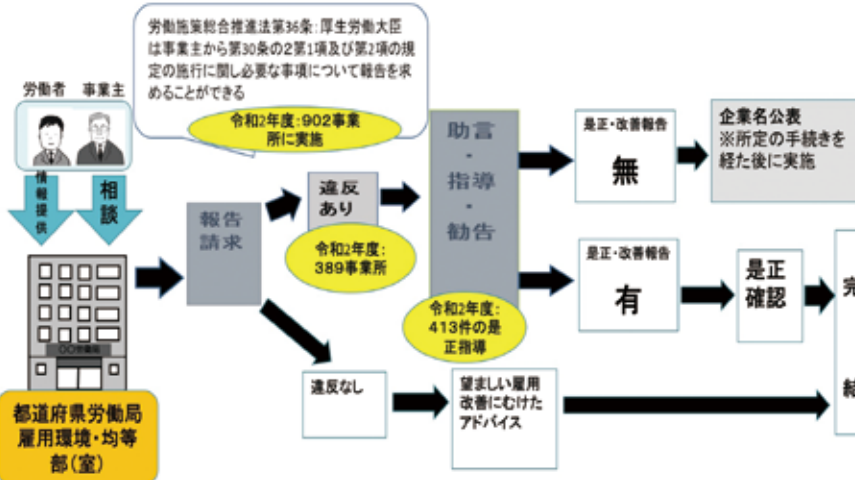
令和2年6月にパワハラ防止対策法が法制化されること等をふまえて、同年5月に心理的負荷による精神障害の労災認定基準も改正された。パワハラについての評価の具体化・明確化を行い、パワハラに関する請求を迅速かつ容易にするという狙いがある。

「会社がパワハラ相談に対してどんな対応をしたか」「パワハラに対する措置事項が履行されていたか」等、事業所の体制について問われる変更点もあるので、事業所の労務リスク管理として労災認定基準についても再確認いただきたい。



行政指導フロー

労働施策総合推進法33条・36条等



(3) 措置事項について

パワハラ防止のため、「10の措置事項」が法律で定められている。詳細は東京労働局の「自主点検票」を参照いただきたい。



パワハラ防止対策指針のポイント

事業主が職場における優越的な関係を背景とした言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等についての指針(以下パワハラ防止対策指針)
令和2年1月15日厚生労働省告示第5号

職場におけるパワーハラスメントとは:

職場において行われる①優越的な関係を背景とした言動であって②業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより③労働者の就業環境が害されるもの

③労働者の就業環境が害されるもの(就業する上で看過できない程度の支障が発生)

①~③すべてを満たすもの

職場におけるパワハラ

②業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより

①優越的な関係を背景とした言動



(4) パワハラの行為類型

パワハラのパターンとして以下の6つがある。

①「身体的な攻撃」相手の労働者の体にダメージを与えるような暴行や傷害といったものが当てはまる。

②「精神的な攻撃」脅迫や名誉毀損・侮辱・

人格を傷つけて
いい仕事はない

パワハラ防止
自主点検
実施中

令和4年4月1日から労働施策総合推進法により中小企業に対してパワーハラスメントの防止対策が義務付けられます。

自主点検を実施してパワーハラスメント防止対策を講じましょう!

NO Power Harassment



職場の中で多様化が進んで、色々な価値観がある。皆様には今一度、自身の言動を振り返ってみていただく機会になれば幸いである。

暴言といったようなものが当てはまる。昨今のパワハラで最も多い形態である。

③「人間関係からの切り離し」隔離・仲間外し・無視といった、学校でのいじめに近いものである。

④「過大な要求」業務上明らかに不要なことや遂行不可能なことの強制、仕事の妨害といったようなものが当てはまる。

⑤「過少な要求」業務上の合理性なく、能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事を命じることや仕事を与えないことが当てはまる。

⑥「個の侵害」私的なことに過度に立ち入ることを指す。

出展企業紹介



会場の様子



視察する佐々木会長



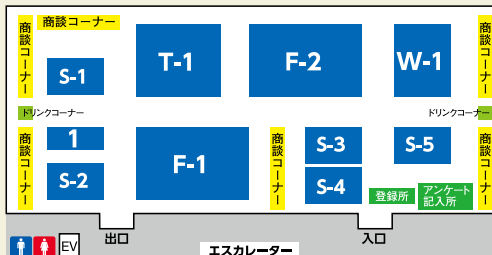
視察する吉澤委員長



出展企業によるセミナー
(4F 会場)

3F

アマノ (株)



S-1 信越アステック (株)

T-1 アマノ (株)

F-2 インテックスソリューション (株)

W-1 ミッケル化学 (株)

1 GMOグローバルサイン・ホールディングス (株)

S-2 (株) アムテック

F-1 (株) サンワ

S-3 オープ・テック (株)

S-4 スリーエム ジャパン (株)

S-5 日本マルセル (株)

オープン・テック (株)



インテックスソリューション (株)



(株) アムテック



信越アステック (株)



GMO グローバルサイン・ホールディングス (株)



(株) サンワ



ミッケル化学 (株)



日本マルセル (株)

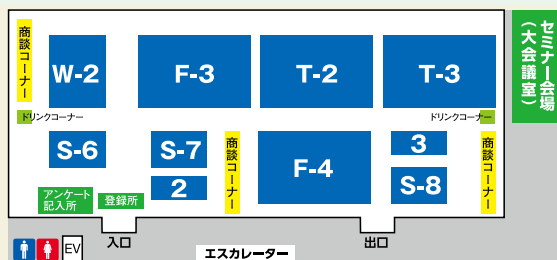


スリーエム ジャパン (株)



4F

アルゴ (株)



W-2 (株)東京ユニフォーム
F-3 山崎産業(株)
T-2 ペンギンワックス(株)
T-3 (株)エイコー
S-6 ビーフューチャー(株)

S-7 (株)マキタ
2 アルゴ(株)
F-4 シーバイエス(株)
3 (株)THIRD
S-8 日本信号(株)

シーバイエス (株)



(株) THIRD



(株) エイコー



ビーフューチャー (株)



日本信号 (株)



(株) 東京ユニフォーム



山崎産業 (株)



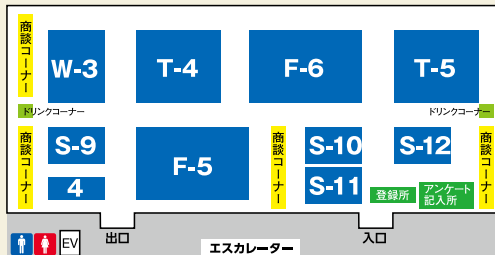
(株) マキタ



ペンギンワックス (株)



(株) イシイ



W-3 ユシロ化学工業(株)	4 ミドリ安全(株)
T-4 (株)湖南商会	F-5 蔵王産業(株)
F-6 (株)テラモト	S-10 (株)つやげん
T-5 (株)リンレイ	S-11 (株)イシイ
S-9 (株)リスダンケミカル	S-12 大一産業(株)

大一産業 (株)



蔵王産業 (株)



(株) 湖南商会



ミドリ安全 (株)



(株) テラモト



(株) つやげん



(株) リンレイ



(株) リスダンケミカル



ユシロ化学工業 (株)

